

2023年度 日本助産学会 若手研究助成公募案内

応募締切:2022年11月18日(金)23:59

日本助産学会では、本学会の会則に基づき、助産学に関する研究を推進するために研究費用の一部を助成し、助産学の発展をはかり、わが国の母子保健に寄与することを目的に研究助成を行っております。

この内、若手研究助成は、研究の「芽」を育むことで若手研究者を育成していくことを目的に、若手研究者が代表となり行う研究で、自由な発想・探究心に基づき計画し、一層の研究の発展が期待できる課題を選んで助成いたします。

若手研究助成の申請は、以下の要領にしたがって手続きいただきますようお願いいたします。

応募資格

1. 研究代表者は、研究開始年度の4月1日現在において、日本助産学会員として2年以上加入している会員であること(注1)
 2. 研究開始年度の4月1日現在において、以下のいずれかの条件を満たすもの
 - ① 博士の学位取得後8年未満のもの(注2)
 - ② 39歳以下で、博士の学位を未取得のもの
- (注1)研究分担者も日本助産学会員であること(加入年数は問わない)
- (注2)博士の学位を取得見込みの者及び博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後8年未満となる者を含む

研究課題

助産学の発展、助産実践の改善と開発、その他母子保健領域の学術的研究等。

助成規模

1件あたり30万円以内。3件程度

助成期間

原則として2年間とします。

助成者の決定および通知

助産学会理事会で審議、採否決定後、研究代表者に通知いたします。

申請方法について

下記「研究助成公募システム」に2022年11月18日(金)23:59までに必要事項を入力し、補足説明の「別紙」や参考資料等がある場合は、同システムに「アップロード」をお願いします。

(2022年度より「郵送による申請」は廃止し、「インターネットシステムによる申請」に変更しました)
「研究助成公募システム」

<https://jam-josei.com/>

※申請にあたり、ホームページ掲載の「実施要項」をよくご確認ください。

※提出された申請データは返却いたしませんので予めご了承ください。

※申請内容登録完了後は修正ができません(入力内容の確認は可能です)。登録完了前に入力内容に誤りはないか、いま一度ご確認ください。

※助成期間終了後に提出された報告書は、原則として日本助産学会のホームページに掲載する予定です。

問合せ先

一般社団法人日本助産学会事務局

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 株式会社ソウブン・ドットコム 内

TEL:03-3893-0111 FAX:03-3893-6611

E-mail:jam-info@soubun.org

多数の応募をお待ちしております！